

教宣 せぶん

株主総会総行動3日目

怒りの声

株主総会1週間総行動3日目も多くの他支部の仲間が朝ビラから行動参加してくれました。終了後「ありがとうございました」と挨拶すると、「お昼にまた来ます」と言って、笑顔を返してくれました。

昼からの社前抗議行動でも、多くの他労組の方々、他支部の方々が旗を持って駆けつけてくれました。連帯の挨拶、座り込み、ビラ配りなど、一日の行動を強力にサポートしてもらいました。

また、「トランペット」の松平さん、「太鼓」や「獅子舞」の多田さんが、それぞれのパフォーマンスで、座り込み行動に彩りを与えてくれ、その場を大いに盛り上げてくれました。こうした仲間の皆様のご支援のおかげで、私たちの「1週間総行動」は、株主総会に向けさらに力を蓄えることができます。

今日は会社に要請書を渡しました。会社の対応はいつものように大量のガードマンをはりつけ、玄関先で要請を受けるといふ、相変わらずの不誠実なものでした。

昨日の社前行動の中で18日の新潟支店行動の様子が報告されましたが、「新潟県に働く仲間の名前で、地元にある東京海上日動社に要請行動をおこなっているのに、新潟支店の対応は『ここではなく本社に行け』という理不尽なものだった」と、あらためて当社経営が示す傲慢さ、不誠実さが語られました。その本社への要請行動でも、要請書を手渡されると逃げるように立ち去り、その後一言の回答も示さない会社に、多くの部支店要請行動の経験をもつ組合員からは「支店では本社に行けと言われた。早く回答を持って来い」と怒りの声が浴びせられました。こうした怒りの声は、最後の「シュプレッヒコール」に集められ、1日目より2日目、2日目より3日目と、そのボルテージはあがっています。

働くものの切実な訴え、声を無視し続ける会社への怒りの声が、必ずや力になって、このたたかいを解決する原動力になると確信します。株主総会まであと3日。東西で行動をおこなってきた組合員が本社前に結集し、経営者に面と向かってものが言える唯一の場・株主総会で、働くものの怒りの声、生の声をぶつけます。